

妊娠期

乳児期

幼児期

学童期（小中学校）

若者・保護者

すこやか・安全

1 不妊治療費助成

不妊治療のうち医療保険適用外の治療費の一部を助成  
男性の不妊治療も対象  
助成を除いた額を助成（上限30万円/年）

2 妊婦さんの救急車利用

緊急を要する場合に担当医師の指示のもと、医療機関へ搬送

3 多胎妊産婦を支援

◆妊娠・出産の知識習得相談会の開催  
◆妊産婦同士交流会の開催（年3回）

4 NEW 出産・子育て応援給付金

◆伴走型の相談支援の充実  
◆出産・子育て応援ギフトによる経済的支援

5 産婦健診

産後1か月健診費用  
5,000円を助成

7 新生児聴覚検査

検査費用  
5,600円を助成

10 ブックスタート

絵本の読み聞かせ、絵本とバックをプレゼント

6 母乳ケア

母乳外来費用  
3,000円(上限)/回を3回まで助成  
助産師の母乳相談、母乳指導を実施

9 歯の健康

フッ素塗布（1歳6か月・3歳児健診時）  
乳幼児期の歯みがき指導

8 予防接種助成

◆インフルエンザ予防接種費用  
1,000円/回を助成（1歳～中学3年生）  
◆予防接種再接種費用助成  
骨髄移植等を受けた20歳未満の方の再接種費用助成（定期予防接種）

11 拡充 チャイルドシート・自転車ヘルメット助成

◆チャイルドシート購入費の半額を助成  
※2回助成あり（各上限1万円）  
※成長にあわせて2歳未満で1回、6歳未満で1回  
◆自転車用ヘルメットは1,000円を助成  
※幼児・小学生・中学生が対象

12 拡充 子育てライフサポート事業（一時保育・家事援助・保護者のリフレッシュ）

◆【子育てびったりサポート】～サービスを上手に利用し、親子で笑顔あふれる子育てライフを～  
・預かり型（訪問型）一時保育 〈対象〉小学校3年生までの児童の保護者 〈利用料〉1時間当たり300円（各種減免あり）  
・家事援助 〈対象〉妊婦、18歳までの児童の保護者 〈利用料〉1時間当たり300円（各種減免あり）  
◆【子育て応援チケット】  
・〈対象〉妊婦、新生児の保護者、家庭育児応援手当の受給者、特別児童扶養手当の受給者  
※1時間無料チケット10枚綴りをプレゼント  
・利用サービス：預かり型（訪問型）の一時保育や家事援助、保護者のリフレッシュにつながるサービス  
【リフレッシュサービス例】整体、よもぎ蒸し、オイルマッサージ、離乳食教室、買い物代行、キャリアコンサルタント、エステなど

13 全国トップクラス 県内トップ 子ども医療費の助成

～高校生を超えて19・20歳の県内学生も対象とするのは、県内では初めて、全国でもトップクラスの取り組み～  
0歳から県内大学等に通学する20歳までのお子さんの医療費を無料化（窓口での支払いなし）

14 県内トップ 保育所・認定こども園

3歳以上の児童は国の幼児教育の無償化で保育料は無料  
さらに大野市独自で令和2年9月から第2子以降も無料（所得制限なし）  
また第3子以降の副食費は県事業を活用し県・市で独自に無料

15 拡充 障がい児・医療的ケア児

障がいのある子、ない子も一緒に適切で安全な集団保育  
医療的ケア児受入日数を拡大（週4日→週5日）

16 お子さんの一時預かり

◆一時預かり事業 ※第2子以降無償化  
市内保育所等に入所していない児童を保育所等において一時的に保育  
◆病児デイケア事業 ※第2子以降無償化  
病気治療中（病児保育）の児童や、回復期の児童（病後児保育）を市が指定する医療機関で一時的に保育  
◆子育て短期支援  
保護者の病気、就労等により、家庭で児童を養育することができない場合等に市が指定する施設において養育  
※宿泊を伴うショートステイと、平日の夜間に利用するトワイライトステイがあります

17 県内トップ 在宅での子育てを応援

第2子以降の児童を在宅で育児している家庭に1万円/月を支給（生後2か月～満3歳未満）  
※福井県の在宅育児応援手当支給事業を活用し、大野市独自で所得制限を撤廃

18 県内トップ 学校給食費助成

第3子以降の小中学校の給食費を無料化  
※県内で初めて取り組んだ

19 大野産米の美味しい給食

小中学校の給食に大野産米（コシヒカリ・いちほまれ）を全量使用

20 県内トップ 放課後の居場所

◆放課後児童クラブ 利用料無料（土曜日、長期休暇は200円/日）  
◆放課後子ども教室 利用料無料

22 夏休みの居場所

◆図書館で宿題支援  
読書感想文や工作をお手伝い ※小学生対象  
◆学習場所として公民館を無料開放 ※小学5・6年生、中学生対象

24 新規 長期休業中の居場所

◆学びと遊びと体験の広場  
・放課後子ども教室の拡充  
・放課後児童クラブとの連携  
・子どもチャレンジ教室とコラボ  
・BG塾、エキサイトウィークとコラボ  
※対象は乾側、小山、上庄、富田、阪谷地区の保育を必要とする児童  
※令和5年夏休みからスタートし、冬休み、春休みも実施  
※充実したカリキュラム

25 スポーツ・文化活動を応援

◆スポーツの全国大会などの出場経費を助成  
◆小中学校の全国大会などの出場経費を助成  
◆文化活動の全国大会などの出場経費を助成  
※いずれの助成も交通・宿泊費の1/2以内  
◆スポーツ少年団活動経費を補助  
◆中学生のジュニアクラブの活動経費を補助

30 障がいのあるお子さんの移動を支援

放課後に日中一時支援事業を利用する障がいのあるお子さんの送迎サービス

31 自然ふれあい探検隊

自然をフィールドとした自然体験型の環境学習会 ※小学生対象

32 体験型防災訓練

若者・親子の防災キャンプ体験

小学校・中学校・学び・体験

若者・保護者を応援

33 拡充 保護者会活動を応援

保護者会や地域住民による組織的な活動にかかる経費の一部を補助（均等割額4万円⇒5万円）

34 世代を超えてみんなで交流

コミュニティ会館などを利用して様々な世代の方が交流できる事業などに助成

35 拡充 結婚新生活を応援

◆住宅賃貸費用又は引越費用助成 ※上限額30万円  
※夫婦双方が29歳以下の場合、上限額60万円にアップ  
※年齢・所得要件あり  
所得制限が緩和（夫婦の所得400万円未満⇒500万円未満）

36 拡充 若者夫婦に祝金

◆結婚した若い世帯に結婚祝金 ※夫婦とも39歳以下で両方またはいずれかが25歳以下の世帯  
※年齢・所得要件あり  
所得制限が緩和（夫婦の所得400万円未満⇒500万円未満）

37 子育て世帯・新婚世帯の定住

中古住宅の購入費用やリフォーム費用を助成  
・中古住宅購入費用の1/3  
・50万円以上のリフォーム費用の1/3

38 3世代同居を応援

多世代同居に必要な既存住宅のリフォーム費用を助成  
※〈対象〉新たに多世代同居となる又は多世代同居をはじめて6か月以内の場合

39 拡充 U・Iターン者の移住と就職を応援

大野市へ移住し、県内企業へ就職された方に支援金を支給  
※子育て加算額が拡充（上限3人分まで加算）  
市内企業就職の場合 5万円/人⇒30万円/人  
市外企業就職の場合 0万円/人⇒15万円/人

40 働く人にやさしい企業を応援

子育て世代にやさしい企業を認定  
令和4年度末 27事業所認定

41 拡充 男性の育児休暇取得を応援

産後パパ育児取得促進補助金を新設  
※要件 出生から8週間までに男性従業員が4週間の産後パパ育児を取得した場合

42 起業・創業を支援

市街地や共同店舗（V I O）内への出店を支援  
※店舗の新築・改装、備品購入費などの経費の1/3（女性は1/2）

共家事・共育児

◆ママもパパも一緒に子育て講座（男女共同参加の推進）  
◆お父さんの育児参加を応援（子育て支援センター）

43 拡充 大野っ子の遊び場

◆木の薫る遊び場づくりを支援  
・認定こども園などに国産材玩具や国産材遊具、什器の購入を補助  
◆奥越ふれあい公園  
・大型複合遊具あり  
◆道の駅「越前おおの荒島の郷」  
・幼児向けボルダリングやすべり台などの木製遊具あり（小学校低学年まで）  
◆エキサイト広場  
・アリーナ・ランニングコースなどの無料開放（夏季・冬季）  
◆豊かな自然・満天の星空  
◆大野まるごとが大野っ子のフィールド

49 登録してね

子育て支援に関するイベントや助成制度などをいち早くキャッチ

